

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成31年4月～6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				前期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				今期(平成31年4月～6月期)と比べた 来期(令和元年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	36.7	31.7	31.7	5.0	44.3	31.1	24.6	19.7	31.1	41.0	27.9	3.3
2 採 算	21.7	53.3	25.0	△ 3.3	30.0	46.7	23.3	6.7	25.0	56.7	18.3	6.7
3 仕 入 単 価	37.3	59.3	3.4	33.9	23.3	71.7	5.0	18.3	26.7	66.7	6.7	20.0
4 従 業 員 数					11.9	83.1	5.1	6.8	11.9	83.1	5.1	6.8
5 資 金 繰 り					13.8	75.9	10.3	3.4	8.8	84.2	7.0	1.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.4	49.2	25.4		0.0		35.6	47.5		15.3	20.3		6.8

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	30.6	14.5	4.8	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.3	11.3	14.5	37.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	11.3	4.8	0.0	16.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.6	3.2	4.8
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	1.6	4.8	3.2	9.7	10 事 業 資 金 の 確 保 難	1.6	4.8	4.8	11.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	3.2	8.1	11.3	22.6	11 需 要 の 停 滞	6.5	14.5	6.5	27.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	1.6	1.6	3.2	6.5	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	22.6	8.1	9.7	40.3	13 そ の 他	0.0	3.2	3.2	6.5
7 人 件 費 の 増 加	4.8	9.7	8.1	22.6	無 回 答	4.8	12.9	27.4	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				前期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				今期(平成31年4月～6月期)と比べた 来期(令和元年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	22.2	44.4	33.3	△ 11.1	33.3	33.3	33.3	0.0	22.2	33.3	44.4	△ 22.2
2 採 算	11.1	33.3	55.6	△ 44.4	22.2	33.3	44.4	△ 22.2	22.2	44.4	33.3	△ 11.1
3 仕 入 単 価	44.4	55.6	0.0	44.4	22.2	77.8	0.0	22.2	0.0	77.8	22.2	△ 22.2
4 従 業 員 数					11.1	77.8	11.1	0.0	22.2	66.7	11.1	11.1
5 資 金 繰 り					22.2	66.7	11.1	11.1	11.1	66.7	22.2	△ 11.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		12.5	37.5	50.0		△ 37.5		50.0	25.0		25.0	25.0		25.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	55.6	11.1	0.0	66.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	33.3	22.2	66.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	11.1	11.1	22.2
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	11.1	0.0	0.0	11.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	22.2	22.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	11.1	11.1	22.2	11 需 要 の 停 滞	0.0	22.2	0.0	22.2
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	11.1	0.0	11.1	22.2	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	11.1	0.0	11.1	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	11.1	0.0	11.1	22.2	無 回 答	0.0	0.0	11.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 4月からの原材料値上がりに伴い、卸価格の値上げを行った。
- ・ 輸出件数の増加

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				前期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				今期(平成31年4月～6月期)と比べた 来期(令和元年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	42.9	28.6	28.6	14.3	71.4	14.3	14.3	57.1	14.3	57.1	28.6	△ 14.3
2 採算	57.1	28.6	14.3	42.9	57.1	28.6	14.3	42.9	28.6	57.1	14.3	14.3
3 仕入単価	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	66.7
4 従業員数					14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					28.6	57.1	14.3	14.3	14.3	85.7	0.0	14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		83.3	0.0	16.7		66.7		83.3	16.7		0.0	83.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	0.0	0.0	25.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	12.5	12.5	25.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	25.0	0.0	25.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	12.5	0.0	12.5	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	12.5	0.0	0.0	12.5	11 需要の停滞	0.0	25.0	0.0	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	37.5	0.0	25.0	62.5	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	12.5	0.0	12.5	25.0	無回答	12.5	25.0	50.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 消費税増税後の需要減少が懸念される
- ・ 市、県の入札状況に左右され、4月～9月は案件が少なく、あっても競争が激しく受注につながらない。
- ・ 外注の大工さんが具合でも悪くなると大変困る状況。消費税前の需要を感じる。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				前期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				今期(平成31年4月～6月期)と比べた 来期(令和元年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	31.6	36.8	31.6	0.0	31.6	42.1	26.3	5.3	21.1	42.1	36.8	△ 15.8
2 採 算	0.0	73.7	26.3	△ 26.3	15.8	57.9	26.3	△ 10.5	22.2	55.6	22.2	0.0
3 仕 入 単 価	42.1	57.9	0.0	42.1	26.3	68.4	5.3	21.1	31.6	63.2	5.3	26.3
4 従 業 員 数					11.1	88.9	0.0	11.1	11.1	83.3	5.6	5.6
5 資 金 繰 り					5.6	83.3	11.1	△ 5.6	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		5.3	57.9	36.8		-31.6		5.3	73.7		21.1	-15.8		5.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	42.1	10.5	0.0	52.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	10.5	15.8	26.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	15.8	5.3	0.0	21.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	5.3	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	10.5	5.3	15.8	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.3	10.5	0.0	15.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	5.3	5.3	15.8	26.3	11 需 要 の 停 滞	21.1	5.3	10.5	36.8
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	5.3	0.0	5.3	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	5.3	15.8	15.8	36.8	13 そ の 他	0.0	5.3	5.3	10.5
7 人 件 費 の 増 加	5.3	15.8	10.5	31.6	無 回 答	0.0	0.0	15.8	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 働き方改革による人件費アップにより商品の値上げが増え、流通が悪くなった。
- ・ 10月より増税により食品においては軽減税率の対応に重点を置く。食品以外の包材等には10%かかるので商品値上げに難しい点、困る。
- ・ キャッシュレス使う人が他所よりも多い。しかし手数料(月数万円)がかかって喜ばない。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				前期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				今期(平成31年4月～6月期)と比べた 来期(令和元年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	38.5	23.1	38.5	0.0	57.1	21.4	21.4	35.7	50.0	42.9	7.1	42.9
2 採算	30.8	46.2	23.1	7.7	42.9	35.7	21.4	21.4	28.6	64.3	7.1	21.4
3 仕入単価	15.4	76.9	7.7	7.7	14.3	85.7	0.0	14.3	7.1	92.9	0.0	7.1
4 従業員数	/	/	/	/	14.3	78.6	7.1	7.1	21.4	78.6	0.0	21.4
5 資金繰り	/	/	/	/	21.4	64.3	14.3	7.1	14.3	85.7	0.0	14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		28.6	64.3	7.1		21.4		50.0	42.9		7.1	42.9		7.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	7.1	28.6	14.3	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	21.4	7.1	0.0	28.6
2 大企業進出による競争激化	28.6	0.0	0.0	28.6	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	7.1	7.1	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	7.1	7.1
4 原材料高及び不足	0.0	7.1	0.0	7.1	11 需要の停滞	0.0	14.3	0.0	14.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	7.1	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	35.7	0.0	0.0	35.7	13 その他	0.0	0.0	7.1	7.1
7 人件費の増加	0.0	7.1	7.1	14.3	無回答	7.1	35.7	50.0	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ AIにより業務内容が効率化されている。
- ・ SNS、流行物の導入等で客数の増加を狙っていく。
- ・ ブラジルの人がお客で来てくれるようになった。
- ・ 周りのお店もどんどんキャッシュレス決済を導入していて現在導入を悩んでいる。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				前期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(平成31年4月～6月期)の状況				今期(平成31年4月～6月期)と比べた 来期(令和元年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	50.0	25.0	25.0	25.0	41.7	33.3	25.0	16.7	41.7	33.3	25.0	16.7
2 採 算	33.3	58.3	8.3	25.0	27.3	63.6	9.1	18.2	25.0	58.3	16.7	8.3
3 仕 入 単 価	33.3	58.3	8.3	25.0	25.0	58.3	16.7	8.3	41.7	50.0	8.3	33.3
4 従 業 員 数	△	△	△	△	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	90.9	9.1	△ 9.1
5 資 金 繰 り	△	△	△	△	0.0	100.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	△ 10.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		33.3	50.0	16.7		16.7		36.4	45.5		18.2	18.2		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	16.7	8.3	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	25.0	0.0	25.0	50.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	16.7	25.0	41.7	11 需 要 の 停 滞	0.0	16.7	16.7	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	41.7	8.3	8.3	58.3	13 そ の 他	0.0	8.3	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	16.7	0.0	16.7	無 回 答	8.3	8.3	16.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 人員不足により営業できない日があった。
- ・ オリンピックに向けて日本酒ブームがきている。
- ・ 人が確保できない場合は、席のうめ方に余裕をもって対応するしかないと考えているため急激な売上増加は見込めない。